

事業所における自己評価結果 (公表)

公表：令和 5 年 3 月 30 日

事業所名 につこり相談室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6			利用児童の特性と活動内容を考慮し、適切な空間を設定し提供している
	②	職員の配置数は適切である	6			保育士・作業療法士・臨床心理士・臨床発達心理士・公認心理士・介護福祉士等の専門職員を配置している
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	6			子どもの特性に配慮した環境を設定。玩具のコーナーごとに区分けし、子どもたちが落ち着いて自由に過ごせる居場所を提供。毎日の玩具・室内外の備品等の除菌・消毒・清掃等の感染症対策を実施
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6			室内備品・玩具・絵本・ぬいぐるみ等、療育終了毎に各3回と朝・夕方の清掃・殺菌・消毒を行い衛生面の環境保持に努めている
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	6			日々の振り返り・月まとめ等、個別の案件についての振り返りを行い、目標の設定を行っている
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6			保護者アンケート調査の結果を踏まえ、業務改善に向けた見直しや取り組みを行っている
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6			毎年、自己評価を実施し改善に努め、風通しの良い事業所作りを心掛けている。ホームページに事業所自己評価・保護者自己評価を公表している
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている				第三者評価は受審していない
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6			事業所内研修・行政等のオンライン研修を受講し職員の共通理解を深め実践に役立てている
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6			保護者様からの事前のアセスメントをもとに、情報の共有を図り、個別支援計画書を作成している
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	1		【気づきのためのチェックリスト】幼児用を導入し、個々の児童の状態を把握し支援に活用していく
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	4	2		保護者様からのご意見やご要望・モニタリング・アセスメント・日々の支援状況等を通して、児童発達支援ガイドラインにもとづいて計画を作成するよう努めている。必要に応じ個別の具体的な支援内容については口頭で説明し、ご理解を得ている

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6			個別計画に沿って行動が出来るよう次の見通しが持てるように1日の活動の流れを表示したカード等を活用した支援を実施
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	6			職員間で状況把握や課題分析を行い意見交換しながら計画書の作成を実施
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6			子どもの特性や年齢に合わせ開始・終了の集まりの内容を変更し提供している
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	6			家庭での様子や日々の子どもの状態を把握し、状況に応じて療育内容の見直しを図り、個々に対応を行っている
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6			職員ミーティング時に当日の子どもの情報を共有し、業務配置等を確認している
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6			療育終了後に振り返りを行いフィードバックを作成し個々の子どもの状況を記録・分析し今後の対応に向けて共有している
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6			当日の子どもの状況等を、フィードバック(個別記録)に記録し、職員間で話し合い、情報の共有・改善を図っている
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6			個々の状況に応じて6ヶ月毎、又は変化があればモニタリング・アセスメント・計画見直し作成を行い説明・同意を得ている
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6			子どもの状態を把握している担当者が、会議等に対応。外部事業所等とは、電話や書面にてモニタリング・アセスメント等に対応している
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	6			地域の子育て支援関係機関や江戸川区サポートセンター、児童相談所等と連携し情報の共有を図り支援を行っている
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				医療的ケア児の受け入れは行っていない
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				医療的ケア児・重症心身障害児の受け入れは行っていない
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6			保護者様や園からの依頼で移行支援を実施。子どもの状況や保護者の意向等に配慮し情報の提供・共有を図り安心して園生活が送れるよう支援している
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6			保護者様や学校の依頼で移行支援の対応を行っている。子どもの状況等の情報共有を図り、安心して学校生活が送れるよう支援している
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6			発達支援センター等の開催する研修を受講し職員のスキルアップを図っている
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		6		現在外部との交流は見合せているが、今後、保育所・幼稚園等と交流が持てるように検討していきたい

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	29	(自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	4	2		行政や地域の会議には代表者が参加し、職員へ情報の提供を図っている
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6			日々の家庭や園での様子や課題などを聞き取り情報共有し、必要に応じて個別に相談の時間を設け問題解決に努めている
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	4	2		プログラムとしては行っていないが日々の療育中に保護者支援やレスパイトケアを実施。毎月第三金曜日に勉強会を開催
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6			契約時に説明を行っている
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	4	2		ガイドライン等、常時閲覧できるよう提示しているが周知が難しいため、今後は保護者様にご理解を深めていただくために、文書配布や口頭の説明等の対応も導入していきたい
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6			いつでも相談を受け付けており、保護者様の不安やお困り事に寄り添い、問題の解消に努めている
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4	2		保護者会は実施していないが、保護者も一緒に療育に参加している為、保護者同士の交流がある。今後は希望者が集える場を提供出来るように検討していく
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6			いつでも、様々な心配事や不安等の相談を受け付けており、個別に聞き取りを行い、問題解決に向けて対応している
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6			【毎月のお便り】やラインにて随時情報を発信している。ラインの空き情報を見て、直接利用の申し込み等も出来ている
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	6			個人書類等に布を掛け他者の目に触れないように配慮し取り扱いに注意している
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6			聴覚障害等の場合は絵カードを使用し、先の見通しを持ち行動する為には1日の流れの進行カード等を使用し対応している
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4	2		以前は、夏のバザー開催等の交流があったが、現在は交流を自粛している。今後対応を検討していきたい
	非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6		
42		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6			毎月、1回～2回の避難訓練を実施しているが、実施日により参加者が偏るため、万遍なく参加できる様に再検討していく
43		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	6			保護者様からの個別の情報を把握・共有し問題が起こらないように配慮している

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	1		事業所内で食物の提供は行っていない。事前に情報を得て、保護者様を通して対応等をお伝えしている
④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6			ヒヤリハット、事故報告はすぐに作成し、職員全員で情報を共有し再発防止に努めている
④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6			行政の研修や内部研修等に参加し、実施研修を通して、職員の知識の定着を図り共有して虐待防止に役立てている
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	4	2		身体拘束・虐待等は 一切 行っていない等、契約時に説明しご理解いただいているが、計画書に記載がないので、今後は、計画書にも記載し改善していく

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。